

イタリアの古都から来日した名門オーケストラが  
若き実力者とともに贈る名曲の夕べ



# イタリア交響楽団

Orchestra Haydn di Bolzano e Trento-Italia

## 青森公演

世界的指揮者  
チョン・ミンフンの  
血を受け継ぐ

ブゾーニ  
国際ピアノコンクール  
2017年優勝者

指揮:チョン・ミン

ソリスト:イヴァン・クルパン

モーツァルト 歌劇「フィガロの結婚」序曲  
ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」  
ベートーヴェン 交響曲 第7番 イ長調 op.92



2019年6月4日(火)開演18:30(開場18:00)  
リンクステーションホール青森(青森市文化会館)

S席 8,000円/A席 6,500円/B席 5,000円(税込み)

※やむを得ず曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。  
※全席指定。未就学児の入場不可  
※東奥日報文化財団会員はS席、A席1,000円引き(2枚まで)  
直接、財団事務局(電話017-718-5115)へ申し込みください。

【主催】東奥日報社、青森朝日放送、東奥日報文化財団  
【共催】一般財団法人 青森市文化スポーツ振興公社  
【特別協賛】青森銀行、みちのく銀行、青い森信用金庫  
【企画】日本アーティスト

【プレイガイド】  
リンクステーションホール青森、成田本店しんまち店  
サンロード青森、さくら野弘前店、ELMインフォメーション  
ローソンチケット(Lコード:22663)  
チケットぴあ(Pコード:139-113)  
セブンチケット、ポみっと!チケット  
電話販売 017-718-5544(平日10時~17時)

【お問い合わせ】東奥日報社事業局事業部 電話017-718-1135(平日9時~17時)



ホっと!

## イタリア交響楽団

Orchestra Haydn di Bolzano e Trento - Italia

イタリア交響楽団(正式名称:ボルツァーノ・トレント・ハイドン管弦楽団。以降、イタリア響と略)は、1960年にイタリアのトレンティーノ=アルト・アディジェ州にイタリア政府文化省の援助を受けて創立された。

イタリア国内の主要なホールやハイドン・フェスティバル(エステルハーゼ)、プレゲンツ音楽祭、アルトウーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ音楽祭(プレーシャ、ベルガモ)、モーツァルト音楽祭(ロヴェレート)、グスタフ・マーラー音楽週間(ドッビアーコ)、アントニオ・ペドロッチ指揮者コンクール(トレント)、チロル・エール音楽祭やフルツィョ・ブゾーニ・ピアノコンクール(ボルツァーノ)などの著名な音楽祭等に参加。また、アメリカ、オーストリア、ドイツ、ハンガリー、オランダ、スイス等へも演奏旅行をしている。2008年にはペーザロ・ロッシーニ・オペラ・フェスティバル公演で来日、東京と大津で演奏した。

オーケストラは、アバド、ムーティ、シャイー、インバル、ロンバル、ゼツダ、テイト、ロベス・コボス、マリナー等の著名な指揮者や有名なソリストとの共演も数多い。50年以上の歴史の中でアンドレア・マスカーニなどによる30年間の統括ののち、2003~12年、グスタフ・クーンが芸術監督に就任。2013年3月より、音楽学者のダニエレ・スピーニが芸術顧問を担い、2014年にはアルヴォ・ヴォルマーが首席指揮者に就任した。

2005~6年シーズンには、グスタフ・クーンの指揮でベートーヴェンの交響曲全曲演奏を行った。イタリア響はAgorá, Arts, col legno, cpo, Dynamic, Multigram, Naxos, RCA, Universal, VMC Classics and Zecchini等より多くの録音をリリース。またイタリア放送協会(RAI)のテレビ、ラジオ出演も数多い。



### 指揮:チョン・ミン Conductor: Min Chung

ドイツのザーリャブルッヘンに生まれる。幼少時にフランスに渡り、コントラバスやヴァイオリン、ピアノを習い音楽の基礎を固めた。その後韓国・ソウルに移り、ソウル国立大学校にてドイツ文学とヴァイオリンを専攻した。

2007年、韓国・釜山のアロイスウス・オーケストラを指揮してデビュー。このオーケストラとは2010年にカーネギーホール、2012年にはサントリーホールで比類なき大成功を収める。

日本では九州交響楽団、千葉県少年少女オーケストラ、洗足学園管弦楽団、アクロス・ユース・オーケストラ、多摩ユース・オーケストラなどと共演。

2013年10月に東京フィルハーモニー交響楽団デビュー。その後、相模原市民会館や新宿文化センターでのベートーヴェン「第九」公演やテレビ番組「題名のない音楽会(青森朝日放送)」で共演。2015年4月からは、同団のアソシエイト・コンダクターに就任。

韓国では首席指揮者としてDittoフェスティバル・オーケストラを率い、また大邱のMBCオーケストラにも登壇している。

2014年11月、ウィーン室内管弦楽団を指揮しウィーンにデビュー、称賛を浴びる。また、2015年8月のボルツァーノ・トレント・ハイドン管弦楽団とのイタリアツアーや、2016年2月のパドヴァ・ヴェネツィア管弦楽団とのチャイコフスキー「交響曲第2番」の指揮など、各地で好評を博している。

チョン・ミンは、韓国国立オペラの招きでラヴェルの「子供と呪文」、プッチーニの「蝶々夫人」を指揮するなど、オペラでも卓越した才能を発揮している。2013年、イタリア・レッチェのポリテアーマ・グレーツ

歌劇場でヴェルディの「椿姫」を指揮してヨーロッパでのデビューを大成功させ、公演直後に、次のヴェルディ「ドン・カルロ」での再登壇が約束された。2014年5月には「ドン・カルロ」を韓国国立オペラでタクトを振り、大好評を博した。

2015年9月から2016年4月にかけて、ミラノ・スカラ座アカデミー管弦楽団と、子供用にアレンジされたモーツァルト「魔笛」を14公演指揮。若い世代に音楽の素晴らしさを伝えた功績が高く評価された。2016年8月にはマリンスキー歌劇場の「蝶々夫人」を指揮した。

### ピアノ:イヴァン・クルパン (ブゾーニ国際ピアノコンクール2017年優勝者)

Piano: Ivan Krpan

今公演のソリストを務めるクルパンは、2017年に権威あるブゾーニ国際コンクールに20歳で優勝し、華々しくそのキャリアをスタートさせた。

クルパンは1997年ザグレブの音楽一家に生まれ、6歳のときにザグレブのブラゴイエ・ベルサ音楽学校にてピアノを始め、レナータ・ストロニチン・リヒターに師事した。

2013年からは、ザグレブ音楽院のルーベン・ダリバルタヤンの門下でピアノを学び、グレ・ドイソー(ベルギー)での第12回若いピアニストたちの国際ランコントロールピアノコンクール(2014)、若きヴィルトゥオーゾのためのザグレブ国際コンクール(2014)、エントリゲン国際コンクール、エトリゲン国際コンクールなどの国内外の多くのコンクールで第1位に輝いている。

2014年にはウルムのドナウ国際ピアノコンクールにて第2位、ザグレブ音楽院学長特別賞、第1回珠海国際モーツァルトコンクールにて第4位にも受賞。2015年、クロアチアにおける当年の最も優秀な若手音楽家として、Ivo Vuljevic賞を授与された。

2016年、若いピアニストのためのモスクワ・ショパンコンクールにて第3位受賞。ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団は、彼を2016年の最も優秀な若手音楽家に出した。

さらに、リヒテンシュタインで開催された国際音楽アカデミーで奨学金を受賞、音楽祭や演奏会などに招聘されている。

今後は、イタリア、ドイツ、中国、韓国、日本、そして南アメリカにてコンサートが予定されている。

